



2022年4月26日

各位

会社名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 荻原 豊  
(コード番号 4569 東証プライム)  
問合せ先 グループ経営企画統轄部 部長 谷藤 功典  
電 話 03-3525-4707

## 通期業績予想の修正について

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、2021年5月11日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2022年3月期の連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	102,600	3,300	3,800	2,700	47.12
<b>今回修正予想(B)</b>	<b>105,500</b>	<b>5,000</b>	<b>5,500</b>	<b>3,800</b>	<b>66.32</b>
増減額(B-A)	2,900	1,700	1,700	1,100	—
増減率(%)	+2.8	+51.5	+44.7	+40.7	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	102,904	5,786	6,447	6,130	106.99

#### 2. 業績予想数値の修正理由

2022年3月期の連結売上高については、一部の後発医薬品企業の品質問題に端を発した製品の供給不安の影響により、主要な長期収載品及び後発医薬品の売り上げが予想を上回る見込みとなったことから、上方修正いたします。

利益面については、売り上げが予想を上回ることによって売上総利益が増加する一方で、販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)が予想通り進捗する見込みとなったことから、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正いたします。

なお、2021年5月11日に公表しました配当予想(年間52円/株)の変更はございません。

以上

(注) 上記予想は本資料発表時、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は本予想額と異なる可能性があります。

## 補足資料

### 1. 連結売上高について

(単位:億円)

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (当初予想)	2022年3月期 (今回発表予想)	対前年 増減額	対当初予想 増減額
売上高	1,029	1,026	1,055	+26	+29
新医薬品等(国内)	697	686	697	0	+11
新医薬品(海外)	10	8	10	0	+2
後発医薬品	322	331	347	+25	+16

### 2. 主要製品の売上高について

(単位:億円)

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (当初予想)	2022年3月期 (今回発表予想)	対前年 増減額	対当初予想 増減額
新医薬品等(国内)					
フルティフォーム	133	139	125	-8	-14
デザレックス	57	72	70	+13	-2
ベオーバ(自社販売分)	73	86	86	+13	0
ラスビック	9	28	18	+9	-10
ペンタサ	128	117	139	+11	+22
ウリトス(自社販売分)	23	10	12	-11	+2
ナゾネックス	28	18	23	-5	+5
キプレス	83	69	84	+1	+15
ムコダイン	33	29	34	+1	+5
ミルトン	21	22	20	-1	-2
ルビスタ	20	21	20	0	-1
後発医薬品					
モンテルカスト錠「KM」※1	108	92	121	+13	+29
モメタゾン点鼻液「杏林」※2	38	35	36	-2	+1
イミダフェナシン錠「杏林」※3	7	7	7	0	0

※1 キプレスのオーソライズド・ジェネリック (AG)

※2 ナゾネックスの AG

※3 ウリトスの AG